

# 第35回千葉県協会オリエンテーリング大会

## 午前の部 (Temp0) 解説

コース設定者 平山 遼太

### 1 はじめに

第35回千葉県協会大会へのご参加ありがとうございました。

国内では珍しいTemp0の競技会ということで、多くの方がご参加くださり、嬉しく思っております。日本代表経験選手も多く、その実力も感じられたことでしょう。

トレイル0やTemp0の機会がとても少ない中ではありますが、1回やったきりではもったいない、コース設定者が考えていることや解法のヒントがわかればもっと面白くなるのではと思い、簡単ながらAクラスの解説をお届けします。風景写真と正解表を参照しながらお楽しみください。

### 2 Station風景

<https://photos.app.goo.gl/JqyNFfLPJg9Go5af7>

第5ステーションから順番に並んでいます。

別日に設置しているため、大会当日の設置状況とは異なります。

### 3 Station 1



最初はシンプルに、樹木と植え込みの位置関係を把握する課題としました。  
リロケートでは、Cのあるピークがわかりやすいので、そこから植え込み、  
樹木の順に対応させていくのがよいと思われます。

#### (1) Task 1

自分から見て一番奥、ピーク近くの植え込みの手前の木です。  
今回はZが正答になる場合は例外なく4m以内にフラッグがありません。  
大体の位置が把握できれば、深く考えずにBを選んでよいでしょう。  
全体で正答率が最も高いTaskでした。

#### (2) Task 2

「木と木の間」はデモでも出題しました。  
「間」は、トレイル0では特徴物の中点にある必要があります。  
植え込みに接していない4本の木に対応させることで解けます。

#### (3) Task 3

本日最初のZです。  
円は手前の植え込み、フラッグは奥の植え込みにあります。  
このような平行を誘う課題はよく設定されます。

#### (4) Task 4

Task 2が正しく解けていればなんということはないと思います。  
ところが、正答率は44%で全体でも3番目に低い値でした。  
解答ではZが多く、奥行きが掴みにくかったかもしれません。

#### (5) Task 5

最後にわかりやすいピークを出題しました。  
安心して深く考えずにCを選ぶと間違えるようになっています。  
特徴物が合っている、円の位置が十分離れていればZになります。

## 4 Station 2



「遠い」のがやりたくて生まれたステーションです。  
フラッグは植え込みか木で単純ですが、見る範囲が広くて難しいと思います。  
柵や四阿など、類似特徴物がないものを使うとリロケートが早いです。  
座っている自分の周囲にたくさん木があることもヒントになるでしょう。

### (1) Task 1

いきなり端っこを出すのは自分でも意地が悪いと思います。  
正解率が全体で最も低い課題でした。上位ほど正解していて流石です。  
柵に囲まれた木から植え込みを対応させていくか、  
周囲に独立樹が密集している植え込み、で判断してもよいでしょう。

### (2) Task 2

視線を大きく左に振ることを意識しました。  
前のTaskが難しいので深く考えさせておき、引っ掛けるパターンです。  
円は奥の木ですが、フラッグは完全に重なった手前の木にあります。  
木の重なりは試走のときに発覚し、これはやるしかないと思いました。

### (3) Task 3

柵の近くの植え込みでEですが、正解率は2番目に低くなりました。  
奥をCヤブで塗ったのが分かりにくかったですよ。

### (4) Task 4

Task 2に近く、四阿との位置関係が使いやすく、簡単ではあります。  
これも前Taskから視線を左に振って判断を鈍らせようとしています。

### (5) Task 5

柵で描かれたロープがほぼ見えないことが不安要素ですが、  
Task 4までに全体が掴めていると、そこまで難しくありません。

## 5 Station 3



傘で目隠しされるのはいかがでしたか？説明前にフラッグが見えない方がよいので、世界選手権や香港選手権では行われていました。

Station 2より難しいと思い設定しましたが、全体の正解率は高かったです。

ギザギザを対応させるのは難しいので、植生を上手く対応させるのがコツ。この手のステーションは初手を誤ると全て間違えるので慎重にいきましょう。優勝した伴選手の30秒ノーマスは異次元です。どうやったのか???

### (1) Task 1

舗装区域の形だけでは特定は難しいです。

待機場所からの誘導でギザギザ地帯のそれなりに手前にいることと、対岸に植え込みの塊がないことに気付けば、円の位置より少し奥にいると判断できます。円が現在地の後ろにある課題はたまに出ます。

### (2) Task 2

これもTask 1でよく考えさせてから引っ掛ける問題でした。

植え込みと見て急いでAを選ぶと30秒失います。気を付けましょう。

### (3) Task 3

Bヤブの視認ができないので距離感を使うやや難しい問題です。

選ぶとしたらCですが、円はAより奥であることと、

近くに目立つ木がないことに思い至れば、Zを選べるでしょう。

### (4) Task 4

リロケートが正しくできていれば容易です。

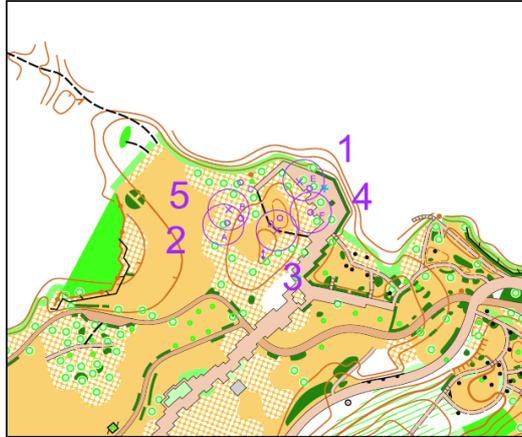
そうでなくともAの植え込みや左の植え込みとの位置関係で解けます。

### (5) Task 5

円の中、両岸にCヤブ（現地では低木の塊）があることがポイント。

フットでは走行可能度B、トレイルでは透視可能度Cとして描きました。

## 6 Station 4



樹木が多数ありますが、地形やその他特徴物を使ってリロケートすると速く、確実です。あまり難しくないスピードステーションのつもりでしたが、意外と所要時間は長い傾向にありました。

### (1) Task 1

木だけを見ると引っかかりそうですが、水飲み場が大変有能です。  
これがわかれば、Eは違う木についていて、正解はZと判断できます。

### (2) Task 2

木をきちんと対応させていく問題です（オープンを使えれば天才）。  
現在地がピーク上であることは明白なので、当てはめていきましょう。

### (3) Task 3

道自体は視認できませんが、曲がりは鞍部にあります。  
地形的に違う、と判断してノータイムでZを選びたいところ。  
正答率は全体で2番目に高かったです。

### (4) Task 4

舗装区域そのものは残念ながら現在地からはよく視認できません。  
水飲み場、周辺の木から相対的な位置関係で解くことになります。

### (5) Task 5

Bも木と木の間にはありますが、奥行きがずれていることに注意。  
円の中心をよく見て、木を正しく対応させましょう。

## 7 Station 5



とにかく植え込みが多くて身構えてしまいましたが、サイクリングコースや、わかりやすいC~Eをヒントにしながら対応させていきたいところです。あえてZは設定しませんでした。

### (1) Task 1

Cを基準にしながら植え込みを対応させていくのが無難でしょうか。現在地のすぐ右にサイクリングロードと孤立した小さな植え込みがあることも現在地特定の手がかりとしては有用です。待機場所から椅子までに植え込みの隙間を通った、という事実も参考になりそうです。

### (2) Task 2

あまり難しくなく補助コンピークの中心に置きました。奥の植え込み、独立樹がわかると確信を持てます。

### (3) Task 3

もはやFかZかしかありません。現在地がわかっているならば、植え込みの位置関係と舗装区域内にあることでFを導けます。手前の大きい独立樹2本は重なっているので注意。

### (4) Task 4

B (Task 1) がわかっているならば簡単です。

### (5) Task 5

特にひねりはなく、サイクリングコース沿いにあるこぶの上です。決断力の差がタイムに出ると思われます。

(解説おわり)